

19.試験工事（ダム湖底泥土浚渫土砂）

対象原泥	発生種別	地盤改良工事排泥	連続地中壁工事排泥	泥土圧シールド排泥	浚渫工事土砂
	発生土区分	建設汚泥	浚渫土		
泥土性状	泥土種別	自硬性	非自硬性		
	含水比 (%)	原泥 100% 貯泥・調泥なし			
	土質区分	粘性土	砂質シルト	砂質土	
	有機質	含有なし	強熱減量5%未満	強熱減量5~15%未満	強熱減量15%以上
利用区分	利用用途	盛土	埋戻し	道路路体(路床)	植生土壌
	利用形態	自ら利用	個別指定	有償売却	試験工事
要求品質	品質区分	第1種処理土	第2種処理土	第3種処理土	第4種処理土
	pH	特になし	中性		
	強度発現	1日	3日	7日	28日
	再泥化	制限あり	制限なし		
処理方法	施工方法	安定処理	スラリー化安定処理	脱水処理	
	工法名	イーキューブシステム	TAST工法		
使用固化材	高分子凝集剤	S-1T			
	同上使用量 (kg)	12kg			
	固化材	アッシュスター	エコハード	ハーデン	再生石膏粉
	同上使用量 (kg)				
リサイクル量	日平均施工量(m ³)	10m ³			
	総量 (m ³)	20m ³	処理機構成	25m ³ 機×1台	

【概要説明】

ため池底泥土を農業分野に再生利用できる新技術を開発することで、農業農村整備事業の効率的実施に資するとともに、コスト縮減及び環境負荷軽減に寄与することを目的とした。具体的には、ため池底泥土を農業分野（土木用資材、農地土壌）に適した物理的性状に改質するための改質材及び処理システムを開発することを目標に試験工事が実施された。

本工事は、ダム湖に堆積している底泥土について実施されたものであり、新たな再資源化技術であるネオ・イーキューブが開発された。なお、試験工事完了後には、処理土は産業廃棄物として適切に処分している。



底泥土採取状況



泥土性状



泥土再資源化装置（25m³セパレート



改良土排出状況